

# GREEN

×

# EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN



2027年国際園芸博覧会  
横浜・上瀬谷 2027.3.19—9.26

International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan  
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027



横浜市長山中竹春

## 市長だより

横浜グリーンエキスポの開催まで、いよいよあと1年です。たくさんの企業や国内の自治体、海外の国からの出展が予定されています。横浜市の出展は、「世界の明日を、みんなでひらく。」をテーマに、会場の中に2つの場所をつくります。

建物空間を活用したエリアでは、「環境先端技術」や「資源が循環<ものを捨てずにくり返し使うこと>するまちの姿」を感じながら、サーキュラー（循環）な暮らしにつながる気づきや行動のきっかけをお届けします。

また、市民のみなさまが主役となる場所もつくり、資源循環の取組などを体験し、実感できる場所をつくります。たとえば、市立学校の子供たちが生ごみと土でつくる堆肥（植物の栄養になる土）を使って、環境活動に取り組む花壇をみなさまがつくるなど、地域の力で循環の輪を広げ

ていきます。

さらに、市立学校の子どもたちをはじめ、横浜市内の子どもたちを招待する予定です。未来を担うはまっ子たちが、持続可能<これからにつながる>な社会について考える機会となることを期待しています。

2027年にデビュー30周年を迎えるアーティスト・ゆずの2人が、横浜グリーンエキスポの公式アンバサダーに新しく就任しました。横浜から歩みを始めた2人が、エキスポを盛り上げるために新しい曲を作ります。俳優の芦田愛菜さんも引き続き参加して、エキスポの魅力を広く発信していきます。

横浜グリーンエキスポは、市民のみなさまと一緒に歩んできた横浜から実現できる万博です。花とみどりにあふれる未来の風景を、横浜から、市民のみなさまと一緒に広げていきたいと思っています。



GREEN  
x  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN

# かいさい 開催まであと1年! ち地

公式マスコットキャラクター トゥンク トゥンク ©Expo 2027

## しみん 市民のみなさんと ともにつくる よこはま 横浜市 しゅってん 出展

会場の中に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを感じられる横浜市の場所を2か所つくります。

また大阪・関西万博で使われた大屋根リングの木材をもう一度使って、循環型都市<ものを捨てずにくり返し使う都市>の取組として発信します。



大阪・関西万博大屋根リング



ベンチとしての活用例

提供元: 2025年日本国際博覧会協会



【会場全体図】



みんなで作るフィールド

ウェルカムガーデン

かつどうひろば 活動広場

かんさつ 観察とあそびの森

みらいしごと 未来志向フィールド

よこはま しゅってん 横浜市出展  
フィールドを  
かつよう 活用した活動拠点

### GREEN x EXPO 2027 <横浜グリーンエキスポ>とは

瀬谷区・旭区の旧上瀬谷通信施設で開かれる、世界の花や緑、環境にやさしい未来を紹介する国際的な博覧会です。米軍施設だった場所が、人が集まり、新しい価値を生み出して発信する場所に生まれ変わります。

### たてもものくわかん かつよう はっしんきよてん 建物空間を活用した発信拠点

未来に向けて挑戦する市民や企業のみなさんと一緒に、「行動変容体験ゾーン」と「先進技術体験ゾーン」の2つのゾーンを通して、横浜が目指す循環型<ものを捨てずにくり返し使うこと>の未来のまちや暮らしを発信します。



発信拠点 外観イメージ

建物は、自然にやさしい国産の木を外側に使い、木目を生かした印象に残るデザインです。大阪・関西万博で使われた材料をもう一度使います。エキスポが後わたったあとは、その材料を市内の学校や公共施設でまた使うことで、次の世代へ受け継いでいきます。

### かつよう かつどうきよてん フィールドを活用した活動拠点

横浜で育った植物の美しい花壇や、公園愛護会など環境活動に取り組むみなさんとフィールドづくり、ツアーガイド、ワークショップなど、子どもから大人まで、みなさんが楽しめる場所を用意します。

来る人に、生き物の命や食のつながりを感じていただけます。



活動拠点 イメージ

#### ウェルカムガーデン

フィールドの入口を彩る、市内で育てた植物などを使った横浜ならではのガーデンです。

# きゅう 球と。咲きに行こう。

開催期間

2027  
3月19日 >>> 9月26日

## ゆずが新しい公式アンバサダーに就任！

横浜市出身の国民的アーティスト、ゆず（北川悠仁氏、岩沢厚治氏）の2人が、開幕1年前の3月19日に、GREEN×EXPO 2027を盛り上げる新しい公式アンバサダーになりました。開幕に向けて2つの取組をスタートしました。



©SENHWA

### “柚子の樹”を植樹

メインゲートに入ってすぐの場所に「柚子の樹」を植えました。エキスポが終わったあとも公園に残り、大きな存在感を発揮します。



ゆずの2人が植える様子

### コラボレーションソング制作

たくさんの名曲を作ってきた2人が、2027年のデビュー30周年に、GREEN×EXPO 2027と横浜をもっと盛り上げるための新しい曲をつくります！



発信拠点 内観イメージ

市民のみなさんと集めた古い布や廃材、会場が出た捨てられる花に新しい命を吹き込みます。ゾウなどを題材に循環の大切さを伝える大きな展示物をつくります。

## 世界の舞台で輝く、ボランティア募集集中！



前に募集した「花・緑ガイド」に、募集200人に対して、**およそ17倍の3,500人**の応募がありました。「花と緑の魅力を自分たちで伝えたい」という、みなさんの強い想いを感じています。

来場者の案内や花・緑の管理など、いろいろな役割を通して、GREEN×EXPO 2027を一緒ににつくってくれる仲間をこれからも待っています。



くわいこはこちら

いま募集中【4月30日(木) 17時まで】

EXPO全体  
(募集する人数)

- 運営 ..... およそ10,000人
- 植物管理 ..... およそ2,000人

7月頃に募集を始めます

横浜市出展  
(募集する人数)

- ツアーガイド ..... およそ100人
- フィールドづくり ..... およそ200人
- プログラム運営補助 ..... およそ600人

### みんなでつくるフィールド

#### ● みんなで会場づくり

花壇づくりに参加する人数で世界記録に挑戦します

#### ● 学校ブレん土づくり

市立学校の子どもたちが生ごみを混ぜてつくるたい肥を会場の中で使います



### 観察とあそびの森

#### ● 生き物のすみかをつくる

材料に切った枝や廃材を使ったインセクトハウス<昆虫の家>を作ります



# 1年後の開幕を彩る600本の桜

エキスポが始まる3月から4月ごろは、およそ40種類・600本の桜が咲きます。春らしいとても綺麗な景色が来る人たちを迎えます。

エキスポが終わったあとも、市内でとても広い桜を楽しめる場所になります。新しい市民の財産として未来に受け継いでいきます。



河津桜



舞姫



染井吉野



菊桜



八重紅枝垂



越の彼岸



©(公財)日本花の会

## 6か月の会期のなかで移り変わる花

会場では季節ごとの花が楽しめます。

すこしずつ変わっていく季節を活かした人の暮らしを風景として表します。



春分～立夏



立夏～夏至



夏至～立秋



立秋～秋分

きくところ 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課 TEL 045-671-4627 FAX 045-212-1223

## みなとみらいでGREEN×EXPO 2027を先取り!

# よこはま 横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2026

とても大きい園芸イベントです。  
会場に広がる花と緑の魅力に触れてみませんか?



くわしいことはこちら

日時	5月2日(土)～4日(月・祝) 10時～17時(4日は16時まで)
会場	パシフィコ横浜 展示ホールA・B
チケット	前売券1,600円 当日券2,000円

中学生以下 無料

## EXPOの魅力を紹介



トゥントゥンと一緒に写真を撮ろう!



オフィシャルストアもあります!



スタンプラリーもあります! 集めるとひとつの絵が完成します

## 花と緑に触れるイベントが盛りだくさん

人気のゲストによる いろいろなステージ



▲三上真史さん(園芸デザイナー)や村雨辰剛さん(庭師・俳優)などによる花や緑の魅力解説

子どもも楽しめる! 体験型ワークショップ



▲花の種が入った「たねダンゴ」作りや 植木屋さんの仕事を体験

## 横浜に新しいバラがたくさん集まります

人気のバラ およそ60種類を紹介! 2026年の新しい品種!



トワイライトヨコハマ 繊細さが魅力の日本の品種

きくところ NTTハローダイヤル TEL 050-5548-8686 (毎日9時～20時 6月15日まで) FAX 045-550-4093

市内5か所目!

### とうぶ じ どうそうだんじょ 東部児童相談所が4月1日にできます

これまで中央児童相談所が担当していた神奈川区・鶴見区・中区・西区・南区のうち、**神奈川区と鶴見区を東部児童相談所が新しく担当します。**地域や関係のあるところともしっかりつながりを強めて、細かい支援を進めていきます。



とうぶ じ どうそうだんじょ  
東部児童相談所

TEL 045-633-4720

FAX 045-500-3553

【場所】鶴見区生麦3-15-30

【アクセス】京浜急行線「生麦」駅  
歩いておよそ5分

じ どうそうだんじょ  
児童相談所とは

17歳までの子どもの育て方、非行、障害、不登校、性格や行動の問題・虐待などについて相談を受けられる場所です。専門的な調査・判定・支援をする施設です。里親についての相談もできます。



相談についてはこちら

きくとこ ども青少年局こどもの権利擁護課 TEL 045-671-2394 FAX 045-550-3948



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今回は、横浜市環境科学研究所(神奈川区)からです。

### ゆっくり“海さんぽ”してみませんか?

よこはま かんきょう かがくけんきゅうじょ  
横浜市環境科学研究所

もっと  
かわいい話は  
こちら



ウェブ版では  
抽選で  
読者プレゼント  
があります

横浜といえば「海」のイメージを持つ人が多いと思います。横浜の海は埋立の歴史といっしょに変わってきました。それでも、自然の海岸線や干潟、小さな砂浜が残り、生き物たちが暮らしている場所はまだまだたくさんあります。横浜市環境科学研究所では、海を見るだけでなく、もっと身近に感じてもらうために、海水を綺麗にすることや生き物が過ごしやす



▲山下公園前海域の海底景観

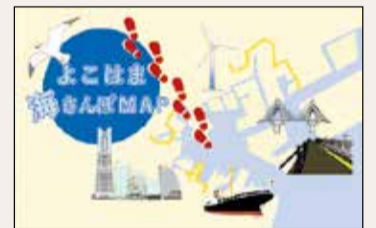
い環境を作ることに取り組んでいます。山下公園の前の海では、企業と一緒に生物付着基盤という人工の生き物が住む場所を作りました。ここに住みつけた二枚貝やホヤが、海の水をろ過してくれることで水が少しずつ

綺麗になり、アイナメが卵を産んだことが確認されるなど、よい循環が生まれています。海辺を歩くと、潮風の気持ちよさと、海の変化を感じます。海の水面を見ると小さな魚が光り、岸壁や砂浜には海藻や貝、カニもいます。ウミネコやユリカモメが羽を休めている姿も見られます。そんな魅力あふれる横浜の海沿いを歩くと、環境科学研究所で作っている「よこはま海さんぽ MAP」を持って行ってください。海に

関係する情報や生き物の知識がたくさんついています。春の陽ざしがよい季節に、ゆっくり横浜の海辺を歩きながら、“海さんぽ”を楽しんでみませんか。



MAPはこちら



よこはま かんきょう かがくけんきゅうじょ  
横浜市環境科学研究所

【交通】JR線「新子安」駅または京浜急行線「京急新子安」駅でおおりて、歩いて15分。

※仕事の紹介と「学び」の時間を目的とした施設の見学を行っています。見学できるのは10~40名のグループです。

きくとこ みどり環境局環境科学研究所 TEL 045-453-2550 FAX 045-453-2560

### 4月1日~ ていき よぼうせっしゅ 定期予防接種についてのお知らせ

にんぶ ていきせっしゅ  
妊婦への定期接種が始まります

RSウイルス母子免疫ワクチン

【あてはまる人】妊娠28週0日~36週6日の人  
【自分で払う金額】無料



POINT

RSウイルス感染症は風邪の1つです。赤ちゃんが入院する主な原因です。適切な時期に予防接種を受けると、病気が重くなることを防ぐことができます。



かわいいことはこちら

ていきせっしゅ  
定期接種のワクチンが新しくなります

成人用肺炎球菌ワクチン

【あてはまる人】65歳の人 【自分で払う金額】5,000円

※60~64歳で、心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に1級相当の障害がある人も対象です  
※市民税非課税世帯の人などは、自己負担がありません



POINT

肺炎球菌とは国内で亡くなる人が多い、肺炎を引き起こす細菌です。新しいワクチンは、これまでよりも、よく効き肺炎を防ぐ効果が長く続くことが期待されています。



かわいいことはこちら

きくとこ 横浜市予防接種コールセンター(月~金よう9時~17時(土日よう祝日・休日はお休み)) TEL 045-330-8561 FAX 045-664-7296

### 10月25日(日) かいさい 開催 4月8日(水)~ 申込開始! よこはま さんかしゃぼしゅう 横浜マラソン2026 参加者募集

ランナー募集 ..... 5月17日(日)まで(市民などの優先枠、1部種目の募集は5月6日(水)まで)  
ボランティア募集 ..... 6月30日(日)まで



かわいいことはこちら



横浜の魅力ある景色を楽しみながら、フルマラソンやみなとみらい7kmランなどのいろいろな種目に、子どもから大人まで参加できます。

きくとこ 横浜マラソン組織委員会事務局(月~金よう10時~16時(土日よう祝日・休日はお休み)) TEL 045-651-0666 FAX 045-226-5037

よこはまし ぶっか こうとうたいさく  
横浜市の物価高騰対策

# かけい くらしと家計を おうえん 応援します



ウェブページは  
こちら

2026年度給食費

小学生

国の基準金額+ 横浜市独自の補助を実施

保護者の負担0円

中学生

保護者の負担額+ 横浜市独自の補助を実施

物価高騰分は市が負担

4月  
から

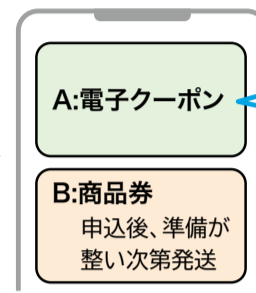
19歳  
以上

## 1人5,000円分の 電子クーポンなどを給付します

4月の下旬から、対象の世帯に、順番に案内のはがきを送ります。あてはまる人は、2月1日時点で市内に住民登録があり、4月1日時点で19歳以上の人です。

受取の方法

はがきを受け取り  
二次元コードから  
選択



すぐに  
利用  
可能

イメージ

区役所相談ブース 4月下旬~

もうしこみが心配な人を手伝います  
月~金よう9時~17時(祝日・休日はお休み)

きくところ 横浜市価格高騰対応給付コールセンター (3月30日~)  
TEL 0570-045-456 FAX 050-3588-8362  
月~金よう9時~17時(祝日・休日はお休み)

給食費負担軽減

5,000円給付(電子クーポンまたは商品券)

2万円給付(物価高対応子育て応援手当)

商店街 プレミアム付商品券

0~18歳

## 子ども1人に 2万円を給付します

物価高対応子育て応援手当として、児童手当を受けている人に、3月10日から順番に支給しています。

商品券  
購入者

## 商店街 プレミアム付商品券で お得に買い物!

4月から販売します。商店街ごとに販売を始める時期がちがいます。くわしいことは上の二次元コードから確認してください。

きくところ 経済局商業振興課 TEL 045-671-3488 FAX 045-664-9533

※国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を使って行います